



Q 防災対策の検証について

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



A 様々な手段で迅速に情報を提供する

問 台風19号の被害は。民家で床下浸水が10件、道路の冠水が20か所、破損が2か所で、そのほかに倒木等が発生した。

答 市民への情報伝達上の課題は、防災行政無線が聞こえづらい中、国や近隣市のエリアメールが携帯電話に届いてしまい、情報が錯綜した。今後は、本市の状況や対応すべき内容を市から積極的に発信する。

問 メールやインターネットがでない方への情報伝達は。

答 防災行政無線のテレホンサービスのほか、自治会などの地域の力や消防団の広報活動で情報を届けていく。

問 地域の力は重要である。しかし、市民に情報を届けるのは、第一義的には行政なのではないか。

問 行政である。

答 停電時にテレホンサービスは機能しない。防災行政無線の戸別受信機等が必要ではないか。

答 十分に検討していく。

問 今回、市民センターが自主避難所となった経緯の周知を。

答 過去の自主避難の例に従い、市民センターを自主避難所とした。今後は、考え方を明確にして、防災訓練等で説明する。災害時には様々な手段を用いて迅速な情報の提供に努める。



Q 学校体育施設の老朽化について

まつお
松尾 孝彦 議員



A 適正な維持管理に努める

る過装置の適正な維持管理に努めている。

問 今後の維持管理について。

答 来年度のプール利用開始までに、早急に対応が必要な杉下小学校、栄小学校及び西中学校のプールの過装置の修繕を予定している。そのほかにも、プールの過装置の修繕が必要な学校がある。現有のプールを活用していくため、保守点検や必要な修繕を行い、維持管理に努めていく。

◎その他の質問

一 子育て支援における鶴ヶ島版ネウボラについて

二 18歳・19歳の投票率について

問 現状と課題について。

答 令和元年度に小・中学校のプール維持管理に要した経費は、下水道料金、薬剤費、保守点検等委託料及び修繕料の合計約1929万円で、1校当たり約148万円である。

プールの維持管理に関する課題

の一つは、児童・生徒の事故の未然防止である。排水口への吸込防止蓋等の点検、プール内やプールサイド等の亀裂や破損の確認など老朽化に伴い、より一層の安全管理の徹底を図っている。もう一つは、衛生管理であり、プールの塩素濃度などの水質基準を保つため、